

平成30年度 海外視察研修事業

1 目的

県内企業の関心の高い国・地域に視察研修団を派遣し、今後のビジネス展開（投資、輸出、輸入等）の可能性及び課題等について 現地進出企業の操業状況や物流状況、市場その他を通じて調査するとともに、海外の市場や制度を学び、今後の海外ビジネス展開に資する。

2 実施

- 主催：ひろしま産業振興機構、日本貿易振興機構広島貿易情報センター
- 旅行企画実施：旅行業者（委託）

3 日時

平成30年4月15日（日）～4月20日（金）
（現地集合・解散 平成30年4月15日（日）～平成30年4月19日（木））

4 参加者

20名程度（事務局含む） ※原則として県内企業・当機構国際賛助会員

5 視察先

ドイツ連邦共和国（視察企業等は予定）

- シュツットガルト近郊
 - ・ポッシュ（自動車部品）（インダストリー4.0）
 - ・ポルシェ博物館
 - ・メッツィンゲン・アウトレットシティ（ヒューゴ・ボス：ファッション関連）
- ハイデルベルグ近郊
 - ・ハイデルベルグ社（印刷機械）（インダストリー4.0）
 - ・IHI・チャージング・システムズ
- フランクフルト近郊
 - ・メッセ・フランクフルト（国際展示場：MICE）
 - ・マツダ・リサーチ・ヨーロッパ

6 視察先選定理由

(1) ドイツ

○ドイツはEUの中核であり世界有数の先進工業国で、GDPの規模は欧州内で第1位である。貿易大国であり、日本と経済的にも密接な関係にある。
（日本から輸出 17,157(百万ドル)、輸入 20,534(百万ドル)）

○日本とEUとは経済連携協定（EPA）が平成29年12月に交渉が妥結し、発効すると関税撤廃による工業製品の輸出、政府調達、投資等でも大幅にビジネス環境が改善される。

(2) インダストリー4.0

○ドイツではいち早く官民が一体となって、AI、IoTを活用したインダストリー4.0に取り組んでいる。本県でも来年度、インダストリー4.0への対応・企業への普及を重要施策に位置付けており、製造業等の企業の関心も高い。

○このインダストリー4.0に先進的に取り組むドイツの自動車・機械関連の企業を視察する。

(3) MICE (Meeting, Incentive travel, convention and Exhibition)

○ドイツでは大規模な展示場と関連施設を備え、見本市等の開催に伴う経済波及効果をあげるMICEに積極的に取り組んでいる。広島市等でもMICEの誘致に取り組んでいる。

○このMICEを推進しているドイツのトップクラスの国際展示関連施設を視察する。

(4) アウトレットモール

○ドイツはアウトレットの元祖であり、中でも国際ブランドであるヒューゴ・ボスの本社周囲には、多くのブランドが集まり、街全体がアウトレット化し経済波及効果をあげている。

○このドイツ国内有数のアウトレットシティを視察する。